

安芸高田市立図書館

[開館時間] 中央・甲田・向原 平日/10:00~18:00 土日/9:00~17:00 八千代·美土里·高宮 平日/11:00~17:30 土日/10:00~16:30

[休館日]月曜・祝日・祝日が月曜に重なる場合はその翌日 木曜(中央図書館以外)

閲覧のみできる時間帯 | 八千代 | 13:00~14:00 | 美土里 | 平日/11:45~12:45 | 土日/13:00~14:00

【閲覧・貸出・返却のみできる時間帯】高宮・甲田・向原 13:00~14:00

没後 400年 今年は

郡山で生まれ



西国を担った武将

いろんな角度から楽しむ戦国史

ドタバタ関ヶ原

長谷川 ヨシテル/著 柏書房/刊

戦いに遅刻したり、愚痴ばかりの手紙 を送ったり。戦国武将の人間くささが 垣間見えるドタバタ劇が面白い。その 中で輝元は野心的な行動を見せてい たようです。



地域別×武将だからおもしろい戦国史

小和田 哲男/監修 かみゆ歴史編集部/編 朝日新聞出版/刊

教科書で習うような政権側から見た 戦国時代だけでなく、地域史からの視 点で戦国時代を語っていて、新しい 「戦国史」に出会える本です。



戦国から江戸へ、輝元の素顔と軌跡

秀吉の接待

毛利輝元上洛日記を読み解く

二木 謙一/著 Gakken/刊

豊臣秀吉に謁見するため京都に向 かった毛利輝元。家臣の日記には旅路 や滞在の様子が生き生きと記され、当 時の輝元の心の変化もうかがえます。



毛利輝元

西国の儀任せ置かるの由候

光成 準治/著 ミネルヴァ書房/刊

毛利元就の孫として生まれ、西国を支 配する毛利家の当主となった輝元。 関ヶ原の戦いでの敗北を乗り越え、長 州藩の基礎を築いたその生涯を詳し く説き明かした研究書。



小説でたどる関ヶ原と輝元の運命

天下大乱

伊東 潤/著 朝日新聞出版/刊

豊臣秀吉の死後、天下を握るのは誰な のか? 天下分け目の関ヶ原の戦いに 至るまでの、徳川家康と毛利輝元の心 理戦を描いた物語。



毛利は残った(角川文庫)

近衛 龍春/著 KADOKAWA/刊

徳川家康率いる東軍の勝利となった 関ヶ原の戦い。西軍の総大将という立 場にあった毛利輝元は、その後の毛利 家の危機をどのように乗り切ったのか?



図書館の保存期限が終了した雑誌・本を無償で差し上げます! 11月8日(土)から22日(土)まで市内6館で同時開催します。持ち帰りは1人20冊以内です。



中央図書館 ☎・お太助フォン 42-2421 八千代図書館 ☎52-7090・お太助フォン 22-1001 美土里図書館 ☎59-2120・お太助フォン 23-1001

本で旅する、日本の世界遺産

世界でいちばん素敵な

世界遺産の教室 日本編



片岡 英夫/監修 三才ブックス/刊

日本の世界遺産といえば姫路 城や富士山、広島では原爆ドー ムや厳島神社が有名です。本書 では、日本の世界遺産の魅力の ほか、美しい写真と共に世界遺 産登録の基準や重要性などが 説明されています。日本の貴重 な遺産に、改めて注目してみて

はいかがでしょうか。

写真館で起きる3つの物語

人生写真館の奇跡

甲田図書館



向原図書館

柊サナカ/著 宝島社/刊

もし自分の年齢と同じ枚数の写 真を選ぶとしたら、どんな思い 出を選びますか? その中から 1枚だけ、人生の写真を撮り直 せるとしたら? 90代のおばあさ ん、40代の男性、幼い子ども… 彼らはそれぞれに過去を振り 返り、次の道へと歩いていきま す。切なくも、温かい物語です。

今

月

0

本

棚

図書館のスタッフがおすすめの本を紹介します

ポジティブな思考をつくる言葉

やさしいことば、ゆうきがでることば



中央図書館

山根

コ・ジョンウク/文 リリア/絵

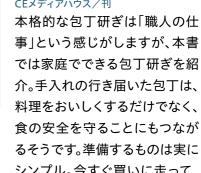
藤田 麗子/訳 パイインターナショナル/刊 やさしい言葉や勇気が湧く言葉 を通して、心がほっと温まり、前 向きになれる絵本。日常で見過 ごしがちな小さな幸せや、自分や 人を大切にする気持ちを思い出 させてくれる、いろいろな言葉が 書かれています。言葉の使い方 を知ることもでき、大人でも新し い発見があります。

簡単に研げてサクサク切れる!

ムズかしい"技術"をはぶいた 包丁研ぎのススメ



CEメディアハウス/刊



中央図書館

事」という感じがしますが、本書 では家庭でできる包丁研ぎを紹 食の安全を守ることにもつなが るそうです。準備するものは実に シンプル。今すぐ買いに走って、 やってみたくなります。



高宮図書館 ☎57-1803・お太助フォン 24-1001 甲田図書館 ☎45-4311・お太助フォン 25-1001 向原図書館 ☎46-3121・お太助フォン 26-1001

2025.11 **20** あきたかた 2025.11 **21** あきたかた